

リサイクル通信

2004. 7

紫外線とは??

近年、地球環境で温暖化・紫外線(UV)などが大きく取り扱われるようになりました。紫外線に注意なんていつから出てきたのでしょうか? ちよつと前まで夏には太陽の下で朝から晩まで遊んで真黒に日焼けした子供達が大量いたものです。

紫外線は大きくわけてA・B・Cの3種類に分けられます。B・Cはオゾン層と大気中の酸素に吸収され、地上に降り注ぐ量は全体の数パーセントです。Aは肌の老化を引き起こし、Bは皮膚細胞中のDNAにダメージをあたえ(少量なら自然再生)過度になるとDNAが突然変異を起こして修復不可能になり皮膚がんを発生するおそれがあるといわれています。では、紫外線の全部が悪者かという、当然太陽がなければ作物



国際環境規格 ISO14001
長沼商事株式会社
埼玉県所沢市林 1-306-7

は育たないし、人間にとつてもビタミンDの合成促進やカルシウムの吸収を補助し強い骨を作るのにも活躍しています。

フロンガスとは?

フロンガス。燃えなくて、気化しやすく、化学・生物学的に安定。人体にはほぼ無害で、自然界にはなく人工的に作り出された化合物です。精密機器の洗浄剤、クーラー・冷蔵庫の冷媒、ウレタンの発泡剤、スプレー類など多種に渡る方面・

分野で使用されています。1985年に南極上空でオゾンホールが観測され、研究の結果、便利なはずのフロンが地球に悪影響を及ぼすことがわかってきました。

フロンがオゾン層まで行き、強力な紫外線にて化学反応を起こし、その結果オゾンが破壊される。フロンが成層圏まであがつて影響がでるまでに十年、現在までに放出したフロンは21世紀から23世紀まで留まり影響をあたえ続けるそうです。1995年のモントリオール議定書、1997年京都議定書でも削減目標が定められております。

これらのことよりフロンをできる限り回収し、破壊もしくは再生をし、これ以上大気に放出させないよう環境省はフロン回収法をスタートさせました。自動車と業務用冷凍空調機器からのCFC(クロロフルオロカーボン)・HCFC(ハイドロクロロフルオロカーボン)・HFC(ハイドロフルオロカーボン)の回収及び破壊が義務づけられています。フロン回収については各都道府県に届出を出さなければなりません。

即、対応します

当社は法の施行後迅速に対応し、埼玉県に届出をしてあります。

また、フロン回収機も2台を所有し、回収しています。回収しましたフロンにつきましては全量破壊処理を依頼しております。

通常の廃棄物とは異なり一度空気中に放出されれば目には見えぬものとなりますので、排出事業者様におかれましては確かなる認識の下に処分をしていただきます様お願い申し上げます。その際にはぜひ、当社をご指名いただけます様よろしくお願い致します。

真夏の青い空の下、海で、山で、川で水遊びにクワガタとり。真っ黒に日焼けした子供が笑顔で走り回る。未来に残そうこの笑顔。